



2024年9月期決算 決算補足説明資料

2024年11月14日



エグゼクティブサマリ

24/9期 減収減益

2024/9期決算は新增改築案件減少から前期比26%減収、60%営業減益。ただし、対直近見通しでは若干超過で着地

25/9期 回復見通し

2025/9期は新增改築案件増加により、14%増収、68%営業増益を想定

先行指標

新增改築先行指標たるトータルパックシステム受注件数は2020/9期より増加。新增改築案件売上も再拡大を想定

経営体制

経営トップに加え、取締役も若返りを推進。生え抜きなど3名を抜擢。2代表制となる経営トップは明確に役割を分担



1

2024年9月期決算実績



2024年9月期経営成績①

- 通期業績は対前年比26%減収、60%営業減益。苦戦の主因は、新增改築案件の減少から主力のメディカルトータルソリューション事業が大きく減少したため。一方、遠隔画像診断サービス事業や給食事業は堅調に推移
- ただし、営業利益の従来見通しに対しては超過達成。コスト圧縮やメディカルトータルソリューション事業の粗利益率引上げ努力が奏功した他、遠隔画像診断サービス事業、給食事業では売上が想定以上となったことに加え、収益性改善への取組が寄与

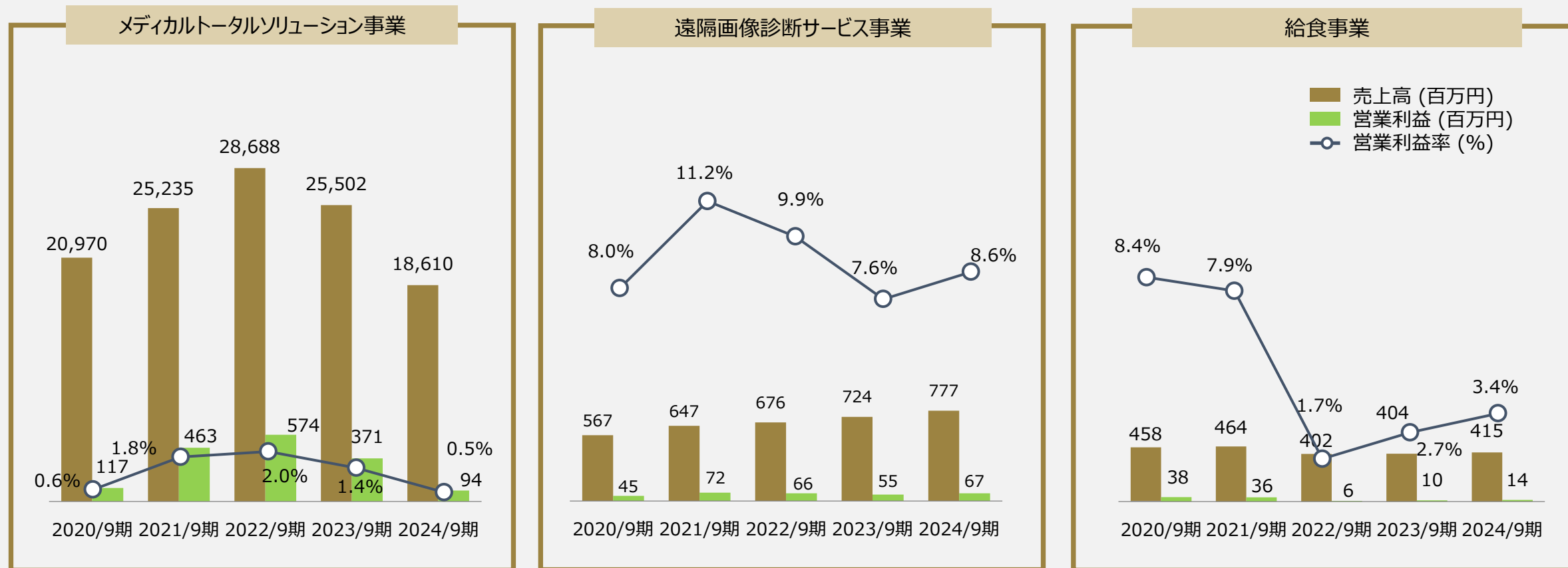
経営成績の推移

(百万円)	2022/9期 実績	2023/9期 実績	2024/9期		比較		
			従来見通し (2024/8/9)	実績	前年比 増減率	前年比 差異	見通し 差異
売上高	29,767	26,632	20,000	19,804	▲25.6%	▲6,827	▲195
メディカルトータルソリューション	28,688	25,502	18,840	18,610	▲27.0%	▲6,892	▲229
遠隔画像診断サービス	676	724	750	777	+7.3%	+53	+27
給食	402	404	410	415	+2.8%	+11	+5
営業利益	650	440	130	178	▲59.5%	▲262	+48
メディカルトータルソリューション	574	371	72	94	▲74.5%	▲276	+22
遠隔画像診断サービス	66	55	55	66	+20.4%	+11	+12
給食	6	10	1	14	+29.3%	+3	+13
調整	2	2	1	2	▲4.7%	▲0	+0
経常利益	709	431	130	181	▲58.0%	▲250	+51
親会社株主に帰属する当期純利益	437	271	120	136	▲49.9%	▲135	+16

セグメント別業績推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上は2017/9期以来となる200億円割れ。新增改築案件減少が影響
- 遠隔画像診断サービス事業では、委託費単価上昇の一巡により、増収効果が寄与し、利益率が改善
- 給食事業も利益率は2期連続で上昇。収益性改善への取組み効果が継続

経営成績の推移





2024年9月期経営成績②

- 4Q発生ベースでは営業赤字。前年比較においては案件売上集中の反動もあり、減収減益。ただし、対3Qでは増収、赤字は縮小
- なお、4Qの粗利率は13.5%と引続き高水準を維持。案件減少という逆風はあったものの、利益率を上げる付加価値を高めるアプローチは着実に浸透

経営成績の推移

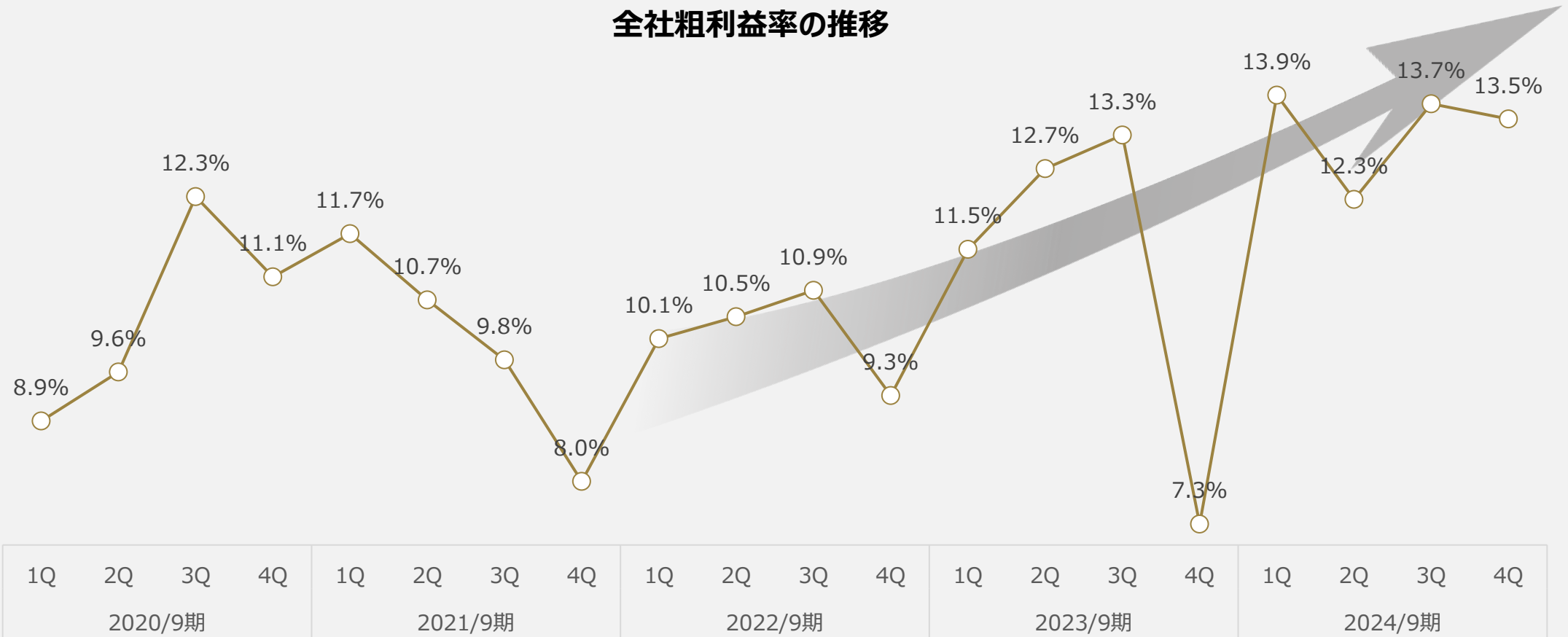
(百万円)	2022/9期				2023/9期				2024/9期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	10,678	8,078	6,438	4,571	4,936	6,725	5,012	9,957	5,414	6,803	3,496	4,090
メディカルトータルソリューション	10,404	7,821	6,169	4,293	4,650	6,444	4,733	9,674	5,124	6,509	3,189	3,787
遠隔画像診断サービス	172	159	171	173	180	181	178	184	186	185	200	205
給食	100	98	98	105	105	99	100	99	102	108	106	97
営業利益	529	241	114	▲235	▲11	274	74	102	135	221	▲120	▲59
メディカルトータルソリューション	499	226	97	▲247	▲34	253	58	94	117	200	▲147	▲76
遠隔画像診断サービス	26	14	15	10	20	18	11	6	15	15	21	15
給食	2	1	1	1	1	2	4	2	2	5	5	1
調整	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
粗利率	10.1%	10.5%	10.9%	9.3%	11.5%	12.7%	13.3%	7.3%	13.9%	12.3%	13.7%	13.5%



粗利益率の推移

- 全社ベースの粗利益率は上昇トレンドが鮮明。トータルパックシステムを軸としたコンサルティング契約など、計画初期段階から携わる案件の増加が利益率上昇に貢献

全社粗利益率の推移

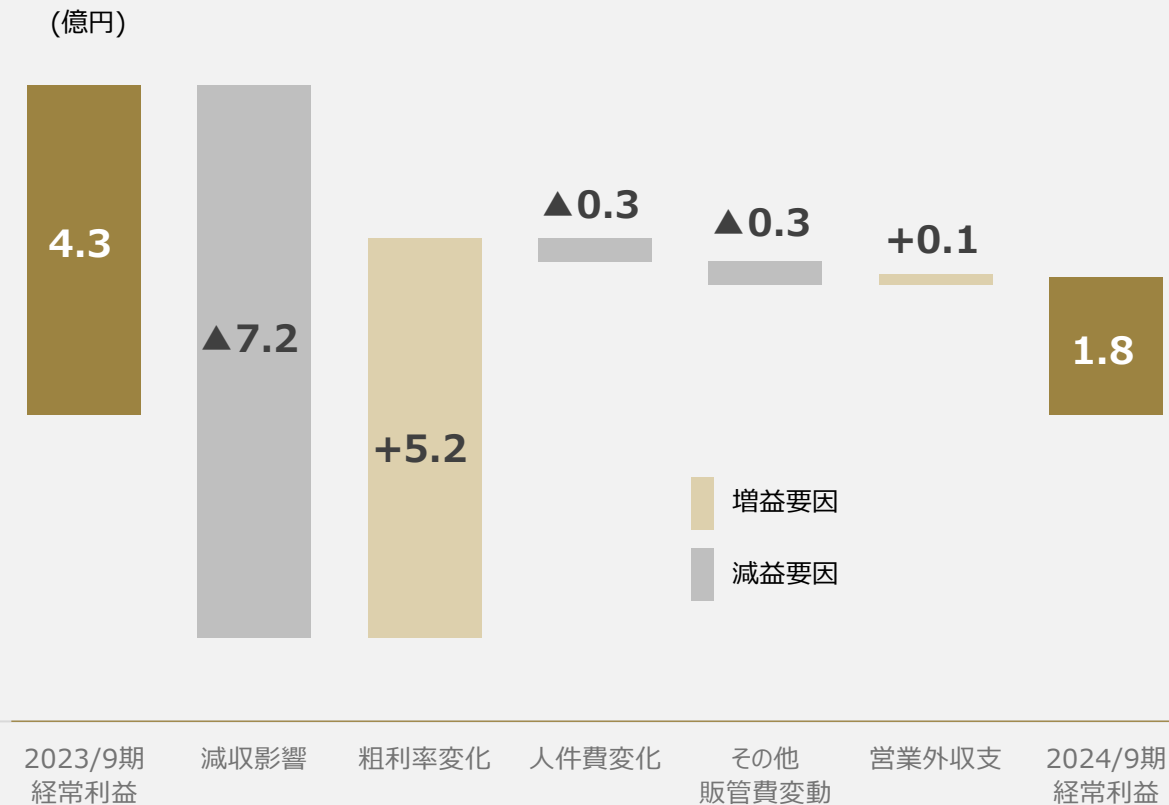




2024年9月期 経常利益増減益要因分析

- 経常利益は対前年比2.5億円の減少。その主因は案件減少に伴う売上減。人件費などのコスト上昇も減益要因
- ただし、同時に採算向上に向けた粗利益率改善を実現。利益率改善効果で上記マイナス要因を大きく減殺。減益とはなったものの、付加価値を高めるアプローチによる高採算案件の計上が寄与

経常利益増減益分析



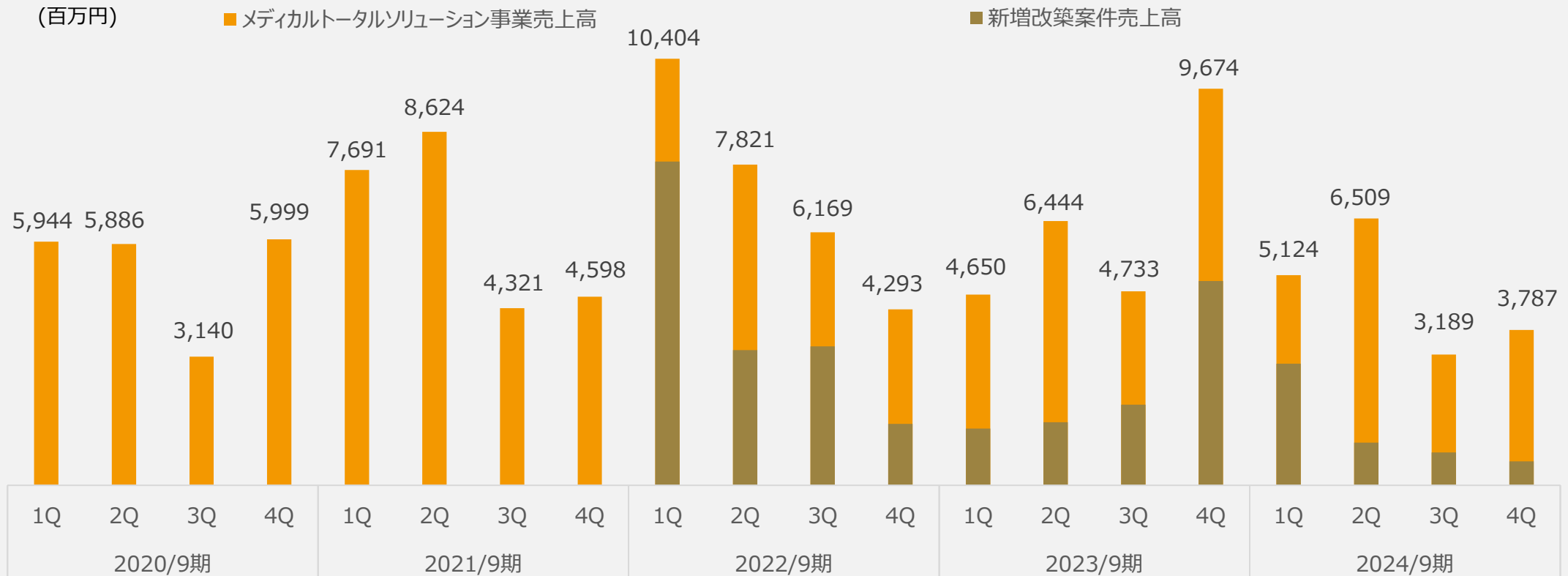
- 減収影響 ▲7.2億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件が減少
- 粗利率変化 +5.2億円
 - ・粗利率は2.6ポイント改善 (10.6%→13.2%)
 - ・付加価値を高めるアプローチが奏功
- 人件費変化 ▲0.3億円
- その他販管費変動 ▲0.3億円
 - ・手数料 ▲0.1億円
 - ・業務委託費 ▲0.1億円
 - ・人材教育費他 ▲0.1億円
- 営業外収支 +0.1億円



メディカルトータルソリューション事業売上推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業の売上は、対3Qで増加。ただし、絶対水準ではまだ低い状況が継続
- 特に、狩猟型ビジネスの主戦場となる新增改築案件の売上は、案件数の減少により低水準で推移。一方、3Qで低水準であったその他機器や期中新規案件の売上は増加

メディカルトータルソリューション事業売上推移



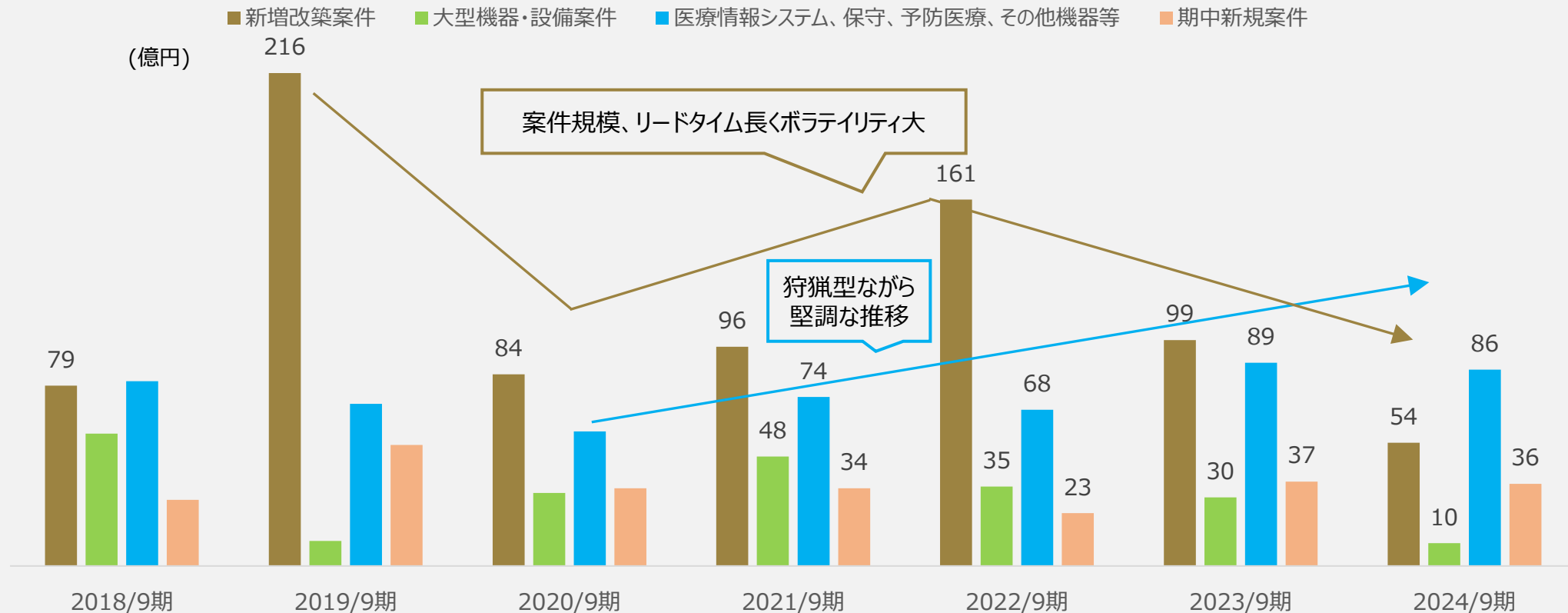
注) 2021/9期以前の新増改築案件売上は非開示



メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- 通期実績ではシステム/保守/予防医療/その他機器等のカテゴリーの売上が事業内では最大の柱として貢献。期中新規案件も堅調
- 一方、新增改築案件は低水準で推移。2019/9期以前にトータルパックシステム新規受注件数が低調に推移した影響が現在発現してきている状況。新增改築案件はリードタイムが長い為、単年でなく複数年トータルでの推移がより重要となる

メディカルトータルソリューション事業売上内訳



注：分類再集計により2022/9期実績数値を遡及修正



2024年9月期 貸借対照表

- 前期末比較では総資産は27%の減少。前期末に残っていた売掛金、買掛金の相殺解消がその主因
- 総資産圧縮に伴い、期末の自己資本比率は52.3%に上昇（前期末の自己資本比率は37.9%）。なお、期末時点のネットキャッシュは55億円

財政状態の推移

(百万円)	2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期	前期末比差異
流動資産	11,755	12,232	13,508	9,583	▲3,925
現預金	5,408	5,480	5,537	5,574	+36
受取手形・売掛金/契約資産	4,820	4,360	7,796	3,821	▲3,975
棚卸資産	188	24	21	71	+49
その他	1,337	2,368	153	118	▲35
貸倒引当金	▲0	▲0	▲1	▲1	+0
固定資産	1,209	1,235	1,185	1,076	▲109
総資産	12,964	13,468	14,693	10,659	▲4,034
負債	7,805	7,930	8,969	4,918	▲4,051
買掛金	4,890	3,960	7,620	3,417	▲4,202
有利子負債	127	92	2	9	+6
その他	2,788	3,876	1,347	1,490	+144
純資産	5,159	5,537	5,724	5,741	+17
負債純資産合計	12,964	13,468	14,693	10,659	▲4,034



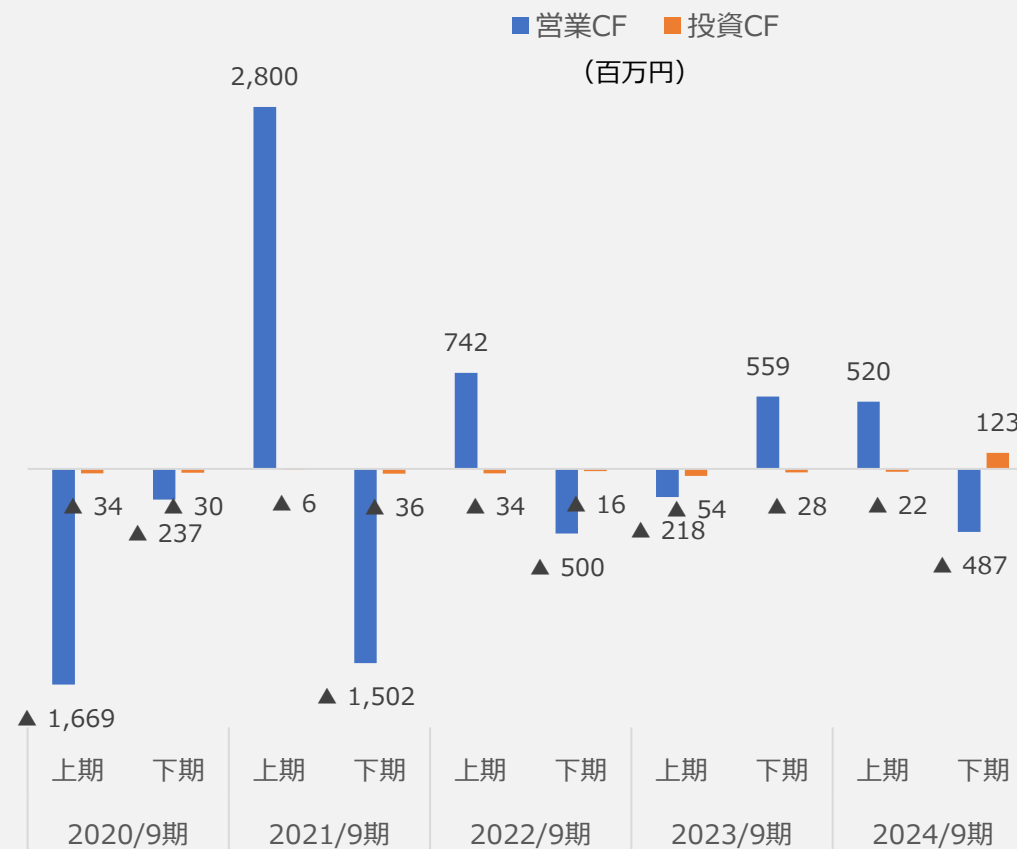
2024年9月期 キャッシュフローの状況

- 2024/9期のFCFは1.3億円の黒字。債権債務関連の資金負担増加により、前期比では減少
- 半期ベースで見た場合、下期のFCFは赤字を計上。下期は投資CFは投資有価証券売却によりプラスを確保したものの、税前利益減少による営業CFの減少が影響

キャッシュフローの推移

(百万円)	2022/9期	2023/9期	2024/9期
営業CF	242	341	33
税前当期純利益	689	431	273
売上債権/仕入債務増減	▲469	223	▲227
その他	21	▲313	▲13
投資CF	▲49	▲82	100
FCF	192	259	133
財務CF	▲120	▲202	▲97
有利子負債の純増減	▲36	▲94	▲1
株式の発行による収入	—	—	7
その他	▲84	▲108	▲102

* FCF=営業CF+投資CF で算出





2

2025年9月期決算見通し

2025年9月期業績見通し

- 2025/9期通期見通しは、前年比14%増収、68%営業増益。営業増益は3期ぶり。ただし、前期計上の特別利益の反動減から、当期純利益では前年比18%増益に留まる見通し
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業が大型案件増を背景に改善。先行指標であるトータルパックシステムは2020/9期より受注件数増に転じている。一方、遠隔画像診断サービス・給食事業はコスト上昇を見込み、保守的に想定

経営成績の推移

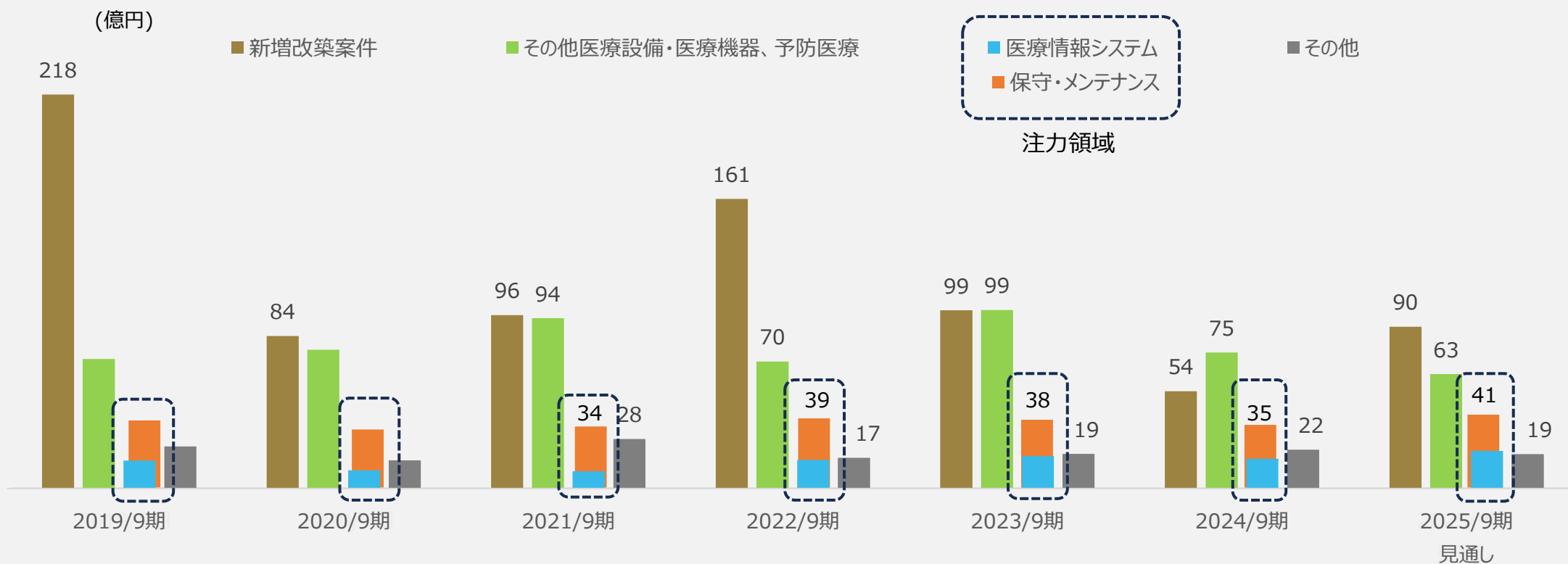
(百万円)	2022/9期 実績	2023/9期 実績	2024/9期 実績	2025/9期 見通し	比較	
					前年比 増減率	前年比 差異
売上高	29,767	26,632	19,804	22,500	+13.6%	+2,695
メディカルトータルソリューション	28,688	25,502	18,610	21,309	+14.5%	+2,698
遠隔画像診断サービス	676	724	777	782	+0.6%	+4
給食	402	404	415	408	▲1.8%	▲7
営業利益	650	440	178	300	+68.4%	+121
メディカルトータルソリューション	574	371	94	232	+145.6%	+137
遠隔画像診断サービス	66	55	66	65	▲1.8%	▲1
給食	6	10	14	0	▲97.0%	▲13
調整	2	2	2	1	▲34.3%	▲0
経常利益	709	431	181	300	+65.6%	+118
親会社株主に帰属する当期純利益	437	271	136	160	+17.6%	+23



メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- 2025/9期よりメディカルトータルソリューション事業の売上内訳を見直し。従来の「医療情報システム/保守/予防医療/その他機器」から医療情報システム/保守を抜き出し、注力領域と再定義
- 現時点の注力領域の売上はメディカルトータルソリューション事業売上の2割弱に相当

メディカルトータルソリューション事業売上内訳



新增改築案件 予想前提

- 2025/9期の新增改築案件の売上想定は90億円。前期比では66%の増収となる見通し
- 案件数の増加は限定的ながら、大型案件増により一件当たり単価では大幅な上昇を見込む
- リスクとしては、人手不足などによる病院建設工期の遅れによる納品の期ズレ

メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	9,877	2,296	2,942	6,080	+3,137
	件数	3	1	1	2	+1
	平均単価	3,292	2,296	2,942	3,040	+97
10億円以上	売上高	3,995	3,594	-	-	-
	件数	3	3	-	-	-
	平均単価	1,332	1,198	-	-	-
10億円未満	売上高	2,180	3,984	2,449	2,882	+433
	件数	6	13	10	11	+1
	平均単価	363	306	244	262	+17
合計	売上高	16,054	9,874	5,392	8,962	+3,570
	件数	12	17	11	13	+2
	平均単価	1,338	580	490	689	+199
事業売上に占める一括販売比率		56.0%	38.7%	29.0%	42.1%	+13.1pt

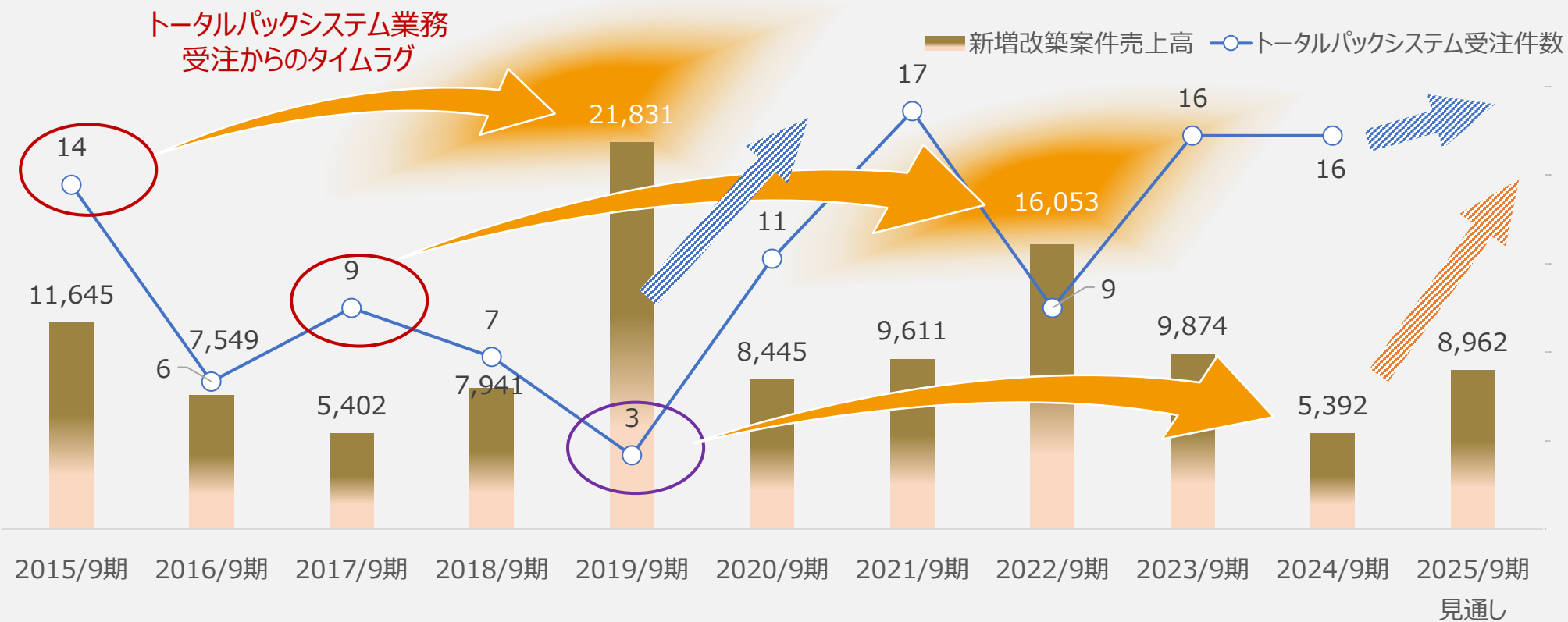


新增改築案件の先行指標

- これまでトータルパックシステム受注が数期のタイムラグを経て新增改築案件売上に反映される傾向
- この傾向に変化がないとすれば、2020/9期よりトータルパックシステム受注件数は増加に転じており、新增改築案件の売上也再拡大局面を迎えるとの見方が可能。ただし、病院の厳しい経営環境、建築コスト高騰などにより計画先送りが発生する懸念は否めず

メディカルトータルソリューション事業新增改築案件売上とトータルパックシステム受注件数との関係

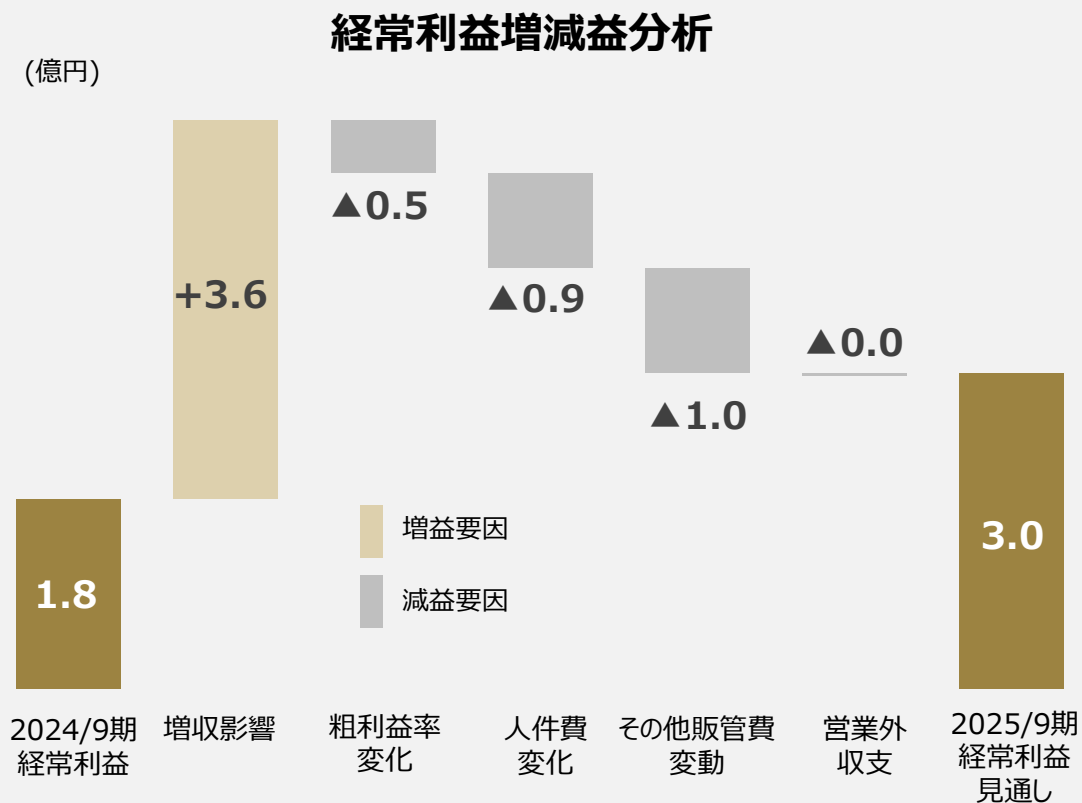
(百万円)





2025年9月期想定増減益分析

- 対前年比較大幅増益を牽引するのは増収効果。これにより、人件費増やその他コスト上昇などを吸収する見通し
- なお、想定粗利率は前期比若干低下となる13.0%。現時点で粗利率低下要因は見当たらないが、ここでは保守的な前提を採用
- リスクは厳しい経営環境を背景とした医療機関の投資姿勢



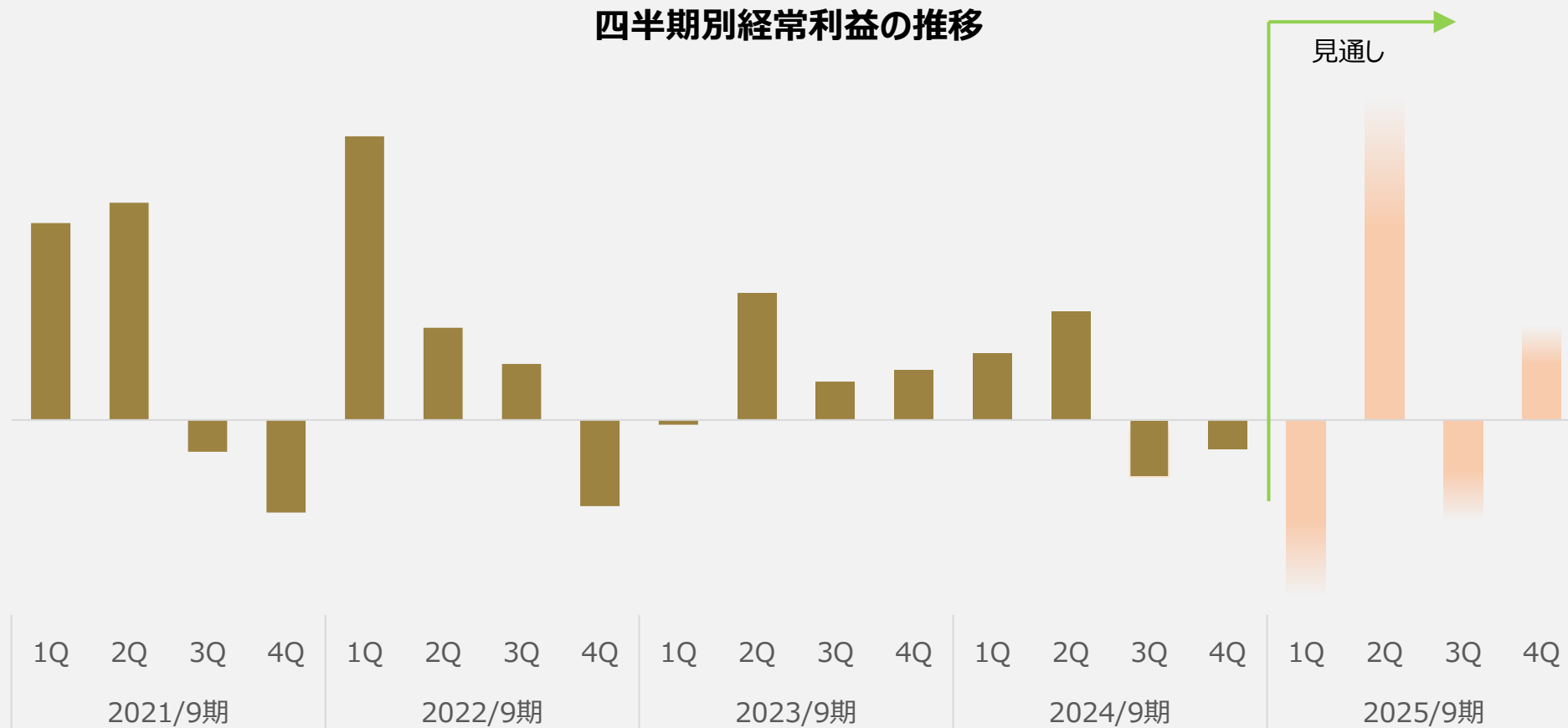
- 増収影響 +3.6億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の増加
 - ・大型案件増により一件当たり単価上昇を想定
- 粗利率変化 ▲0.5億円
 - ・粗利率は0.1pt低下を想定 (13.1%→13.0%)
- 人件費変化 ▲0.9億円
- その他販管費変動 ▲1.0億円
- 営業外収支 +0.0億円



2025年9月期四半期別経常利益想定

- 四半期発生ベースの経常利益は、変動の大きな推移となる見通し。これは、新增改築案件売上計上のタイミングが特定の四半期に偏ることに拠る
- 現時点においては、2Qが売上集中する四半期となる見通し。逆に、1Q、3Qは閑散期となり、損益は苦戦と想定

四半期別経常利益の推移





3

トピックス



トピックス

- 1 **経営体制変更**
- 2 **出資・業務提携の検討**
- 3 **営業体制強化**
- 4 **資本コストや株価を意識した経営（アップデート）**



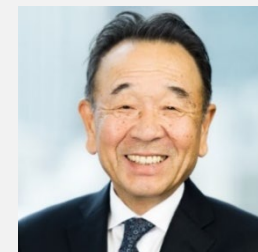
トピックス1：新経営体制発足

経営体制を大幅刷新

2024年10月～ 経営トップの若返りを進め、2代表体制へ移行（既報）

代表取締役会長杉田昭吾：

業界知識と経験を活かした**経営戦略の構想・推進に特化**



代表取締役会長
杉田昭吾

代表取締役社長竹内興次：

新たな視点とバイタリティを持って**既存事業中心に業務全体を遂行統括**



代表取締役社長
竹内興次

2024年12月～ **取締役の若返り**も推進（株主総会における承認が条件）

新たに3名の取締役を選任予定

取締役会構成は、代表取締役2名＋新任取締役3名＋社外取締役2名に
選任予定取締役では、生え抜き2名が営業部門を統括。残り1名は管理部門を統括

事業環境の変化に迅速かつ柔軟に対応して持続的な成長と企業価値の向上を目指す



トピックス2：出資・業務提携の検討

2024/9末
ネットキャッシュ
55億円

主な用途領域

- ✓ 商社金融
- ✓ **投資戦略活用**
- ✓ DX・システム投資
- ✓ 社内体制強化

一括保守ビジネスの強化・加速に向け、
出資・業務提携の活用を検討

出資・業務提携
のターゲット例

医療機器の修理業務

- ✓ 一括保守ビジネス強化に向け、修理業務のパートナーシップ企業を拡充
- ✓ 出資や業務提携を通じ、保守業務の能力を自社グループ内に確保

中古医療機器の買取業務

- ✓ 一括保守を推進するうえで、買換え時の既存設備下取りなど顧客のニーズに対応



トピックス3：営業体制強化

- ✓ **トータルパックシステムの受注拡大**に向けて専門部署の体制を再編

従来のトータルパックシステム営業部隊

営業推進(新規受注部隊)、コンサルティング部、
技術部は**独立した組織として存在**

今後の営業部隊

左3部を**営業推進統括部傘下に再編**。
これまで以上に連携強化できる体制を構築

主力である新增改築案件のシェア拡大に向けて受注の掘り起こしを本格化し、粗利率引上げに繋がる高付加価値化を継続

- ✓ **IT（医療情報システム）・一括保守部門**の人員増強

IT部門人員
一括保守部門人員

+ **15%** 2024年10月実施済
今後の事業拡大に合わせて増員を計画

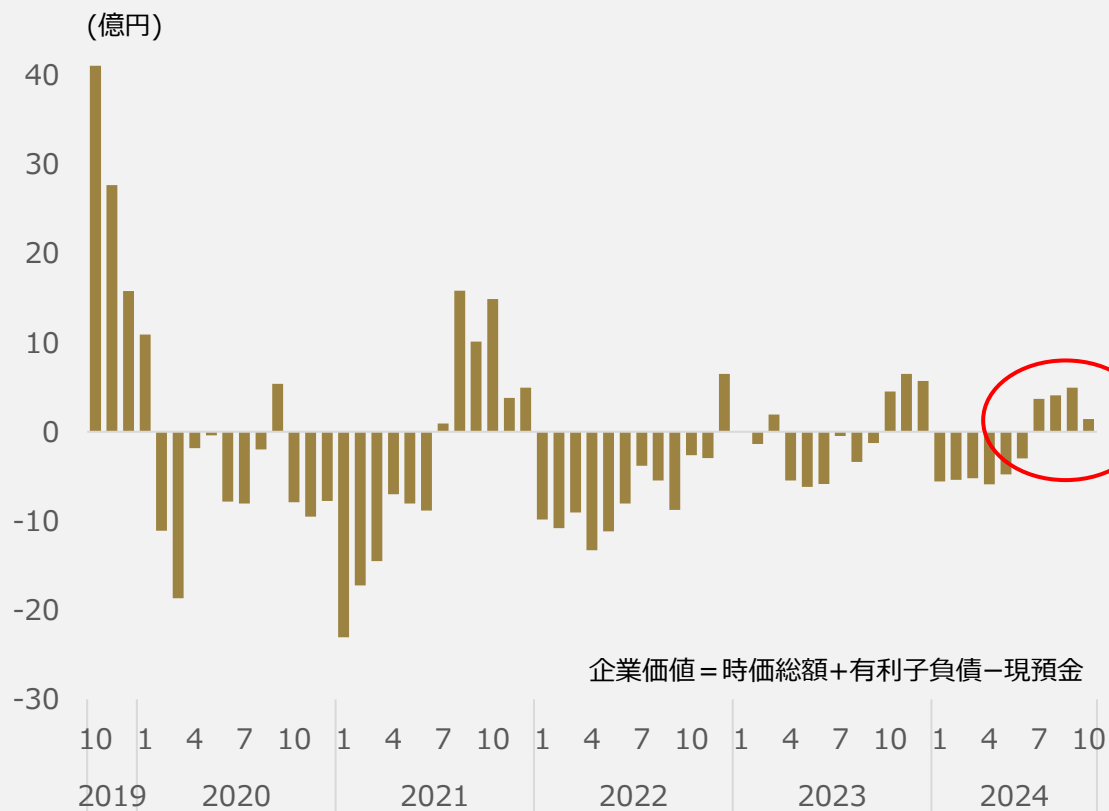
成長領域と位置付けるIT/保守領域に人的経営資源をシフト



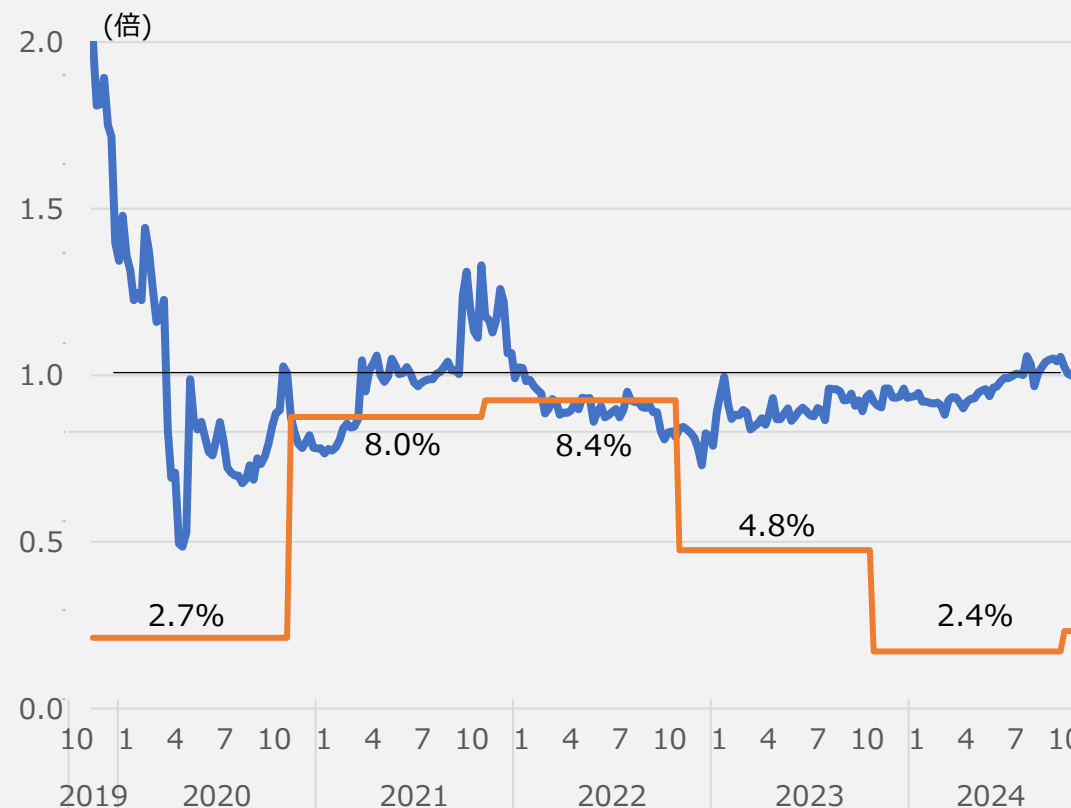
トピックス4：資本コストや株価を意識した経営（アップデート）

- 企業価値の回復に併せ、PBRはじりじりと上昇。まだPBR1倍超が定着したとは言い難いものの、市場からの評価は改善基調と認識
- 今後はROE改善期待の醸成に向けて利益率の向上を図ると同時に、引続きキャッシュの積極活用やコーポレート・ガバナンス強化などによる資本コスト引下げ努力を推進
- 2024年11月14日付で「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」の方針や具体的取組みを公開

企業価値の推移



PBRとROEの推移





業績・財務ハイライト

決算年月		2019年9月	2020年9月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
売上高	(千円)	36,109,029	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145	19,804,248
経常利益	(千円)	1,184,035	207,244	595,939	709,660	431,662	181,146
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	732,959	120,839	390,983	437,051	271,306	136,057
包括利益	(千円)	735,628	141,111	427,266	467,209	294,367	112,733
資本金	(千円)	331,507	536,169	539,369	539,369	539,369	542,869
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800	1,967,800
純資産額	(千円)	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103	5,741,300
総資産額	(千円)	12,814,634	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938	10,659,647
1株当たり純資産額*	(円)	792.19	802.93	855.78	915.42	946.33	943.51
1株当たり配当額	(円)	40.0	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0
1株当たり当期純利益*	(円)	137.10	20.84	66.64	74.30	46.12	23.09
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益*	(円)	—	20.62	66.11	73.84	45.84	22.96
自己資本比率	(%)	33.0	35.1	38.8	40.0	37.9	52.3
自己資本利益率	(%)	18.7	2.7	8.0	8.4	5.0	2.4
配当性向	(%)	9.7	72.0	20.0	22.4	36.1	72.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555	33,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲91,784	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011	100,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲213,022	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311	▲97,225
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	6,162,281	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421	5,554,031
従業員数	(人)	155	157	162	175	176	170
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(39)	(54)	(58)	(62)	(62)	(62)

*2024年10月1日付株式分割(1:3)の影響考慮後



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
経営企画室 IR担当
TEL : 06-6387-1554
Email : ir-support@leoclan.co.jp